

2023年度

定時評議員会 議事録

公益財団法人北海道サッカー協会

2023年度 定時評議員会

議 事 録

1. 日 時 : 2023年6月25日(日) 13時00分から14時32分

2. 場 所 : ホテルライフオート札幌 17Fサラ

3. 出席状況 (敬称略)

(1) 評議員総数 29名

(2) 評議員定足数 15名

(3) 評議員出席総数 22名

(4) 出席評議員(22名)

山脇 栄、前田 和男、宮本 守孝、三森 敏司、草野 康一、橋本 誠司、戸村 真規、
小橋 薫、栗原 智博、榊原 尚行、高島 利実、山内 秀樹、前田 孝一、岸 豊、
佐藤 久弥、松本 敏嗣、牧野 克明、溝口 昇、細川 義夫、千葉 聡美、佐々木淑子、
長浜 光弘

(5) 欠席評議員(7名)

高山 幸雄、古高 誠志、佐藤 裕幸、斗賀山信美、矢内 利行、加藤 孝俊、北林 剛

(6) 出席理事(4名)

越山 賢一、船田 清、鷺津 裕美、石井 肇

(7) 出席監事(3名)

工藤 彰一、永浦 政司、吉川 賀恵

(8) 欠席監事 なし

記録: 安芸瑞穂事務総長

4. 議 事

<決議事項> 第1号議案 2022年度貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)
並びに付属明細書、財産目録承認の件
第2号議案 理事選任の件
第3号議案 裁定委員選任の件

<報告事項> 第1号報告 2022年度事業報告書の件
第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件
第3号報告 2023年度事業計画・予算の件
第4号報告 2023年度5ブロック圏及び、地区/連盟支援交付金の件

(1) 定足数確認

安芸事務総長より、評議員総数29名中出席評議員22名、欠席評議員7名。定足数15名により、「評議員及び評議員会運営規則」第8条に基づき、本会議は有効に成立していることが報告された。

(2) 議長選任

安芸事務総長より定款第21条の規定に基づき、議長の選任について諮ったところ、事務局一任の発言があり、他に意見がなく、事務局として戸村真規評議員を推薦、出席評議員全員一致で選任した。

(3) 議事録署名人・書記の選出

安芸事務総長より、定款第23条の規定に基づき、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、事務局一任の発言があり、他に意見がなく、事務局として三森敏司評議員、前田孝一評議員を推薦、出席評議員全員一致で選出した。

議事録署名人	議長	戸村真規
	評議員	三森敏司、前田孝一

(4) 議決事項

第1号議案 2022年度貸借対照表・損益計算書（正味財産増減計算書）並びに付属明細書、財産目録承認の件・・・船田副会長（財務担当業務執行理事）、長濱事務局長
議案書に基づき、以下の説明を行った。

1) 2022年度決算報告

- ・一般正味財産増減の部では、事業がコロナ前の状況に戻ったことにより収支が増額となっている。6月の日本代表戦及び登録料還付金を一括補助金で充当したことなどから補助金収入が約1,470万円増額となった。収支では1,025万円の黒字となった。
- ・指定正味財産増減の部では、900万円の増額となり期末残高では約3億5,099万となり、前年比約1,925万円の黒字決算となった。
- ・決算額の処分案として、登録料収入の減少やJFAからの補助金の減額が予想される中、組織の維持及び公益事業を継続開催していくための財源として指定正味財産へ積み立てたいと考えている。
- ・ノルディーア北海道のなでしこリーグ2部スポンサーマッチデーの会場予約にミスがあり、それに伴うノルディーア北海道の損失825,000円（税込）補填を行った事を報告した。

組織基盤整備事業	200万円	積立
組織運営資金	1,000万円	積立

受取寄付金	40万円	受領	一般受取寄付金のため、公益事業と法人会計に50%ずつ計上
-------	------	----	------------------------------

2) 様式1 貸借対照表

	前年度	当年度
・資産合計	382,093,252円	398,289,179円
・負債合計	50,358,894円	47,298,678円
・正味財産合計	331,734,358円	350,990,501円
・負債正味財産合計	382,093,252円	398,289,179円

3) 様式2 正味財産増減計算書

	前年度	当年度	増減
・経常収益計	318,266,492 円	366,548,360 円	48,261,868 円
・経常費用計	319,086,837 円	355,930,617 円	11,438,088 円
・当期経常増減額	-820,345 円	10,617,743 円	11,438,088 円
・当期指定正味財産増減額	36,000,0000 円	9,000,000 円	-27,000,000 円
・正味財産期末残高	331,734,358 円	350,990,501 円	19,256,143 円

4) 様式3 財務諸表に対する注記

	当期増加額	当期減少額	当期末残高
・基本財産及び特定資産合計	20,170,000 円	3,000,000 円	199,446,228 円

5) 指定正味財産積立

- ・組織基盤整備事業資金について、200万円積み立てることにより、事業実績予定年度（取崩）が2037年度まで毎年300万円支援可能となる。
- ・組織運営資金について、1,000万円を積み立てることにより、今後の組織運営資金が増額となり、緊急時に取崩可能な自己資金を備えることとなる。

6) 監査報告・・・吉川監事

- ・2023年5月13日（土）に行われた監査結果について報告された。
- ・会計処理及び業務執行についての状況を調査した結果、適正に会計処理されており、業務執行についても適正に行われている旨の報告があった。

説明の後、出席評議員より質疑なく、賛否を諮ったところ、評議員全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第2号議案 理事選任の件・・・山脇評議員（役員候補者推薦委員長）

議案書に基づき説明を行った。根室FA選出理事である小島氏が、根室FA理事長を退任し、HKFA理事を辞任した。根室FAより館下氏を後任とする推薦があったことから、役員候補者推薦委員会を開催し、館下氏を理事候補者として選任し、定時評議員会へ推薦することとなった。

理事 館下 裕典

説明の後、出席評議員より質疑なく、賛否を諮ったところ、評議員全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第3号議案 裁定委員選任の件・・・石井専務理事

議案書に基づき説明を行った。杉原氏は元中学校校長であり、元北海道トレセンスタッフである。サッカーに関する経験と知識を有する、公正な判断をできる人物として、定時評議員会へ推薦することとなった。

裁定委員 杉原 賢

説明の後、出席評議員より質疑なく、賛否を諮ったところ、評議員全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

(5) 報告事項

第1号報告 2022年度事業報告書の件・・・石井専務理事
資料に基づき説明を行った。

報告の後、出席評議員より質疑・意見等がなく、これを了承した。

第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件・・・石井専務理事
資料に基づき、2022年6月25日から2023年5月27日までの業務執行状況を説明した。

報告の後、出席評議員より質疑・意見等がなく、これを了承した。

第3号報告 2023年度事業計画・予算の件・・・石井専務理事、船田副会長
2023年度事業計画について、石井専務理事より、資料に基づき説明を行った。

主な新事業

- ・地区主催キッズリーダー養成講習会開催支援
- ・大学女子チーム創出制度
- ・高校ユース(U-17)新人サッカー大会開催支援
- ・北海道トレセンU-16国体合宿

2023年度予算について、船田副会長より、資料に基づき説明を行った。

【正味財産増減予算書】		(単位:千円)
2023年度	2022年度	増減
I 一般正味財産増減の部	I 一般正味財産増減の部	
1 経常収支の部	1 経常収支の部	
(1) 経常収益 計 418,623	(1) 経常収益 計 407,085	11,537
(2) 経常費用	(2) 経常費用	
登録料 68,000	登録料 66,000	2,000
事業費 305,473	事業費 297,238	8,235
管理費 11,107	管理費 9,950	1,157
交付金 34,043	交付金 33,898	145
計 418,623	計 407,085	11,537

- ・会長方針及び当協会の目標を基本とし、昨年10月に示した3項目の予算編成方針に基づき予算案をまとめた。
 - ①各委員会の要望額は、原則として前年度予算総額内とする。
 - ②新規事業を要望する場合にあっても、前年度予算総額内とする。
 - ③事業最適化会議の報告を踏まえ、継続事業の一部について包括予算化するなど試験的な予算編成を行う。
- ・特定費用準備資金について以下の通り見直す。
 - ①ユース育成年代準備資金 国際交流事業費はコロナ過により交流国選定が進んでいないため、2022、2023年度は執行せず、期間を2年延長する。
 - ②ユース年代育成準備資金 トレセン等事業60万は、国体少年女子の北海道スポーツ協会の助成期間終了のため準備資金から充当する。
 - ③建物修繕費資金 トレーニングセンターハウス「夢きたれ」の修繕は状況確認のため一年執行を延期する。

説明の後、下記の質疑・意見等があった。

(高島評議員)

U-17 新人戦の状況を教えて欲しい。

(安芸事務総長)

約 100 万円の J F A 補助金がついた。制度上同額以上の自主財源が必要となり、参加料をそれに充てる。各ブロックから頂いた予算書を元に補助金を各ブロックへ配分する。実施要領を作成し、各ブロックへ案内する。

(前田孝一評議員)

今年度中止の知事杯について、2024 年以降の実施の可能性を知りたい。

(石井専務理事)

今年度はスケジュールの関係で実施できなかった。来年以降の決定はまだであるが、同様の状況に変わりはないものと考えている。

他に質疑・意見等がなく、これを了承した。

第 4 号報告 2023 年度 5 ブロック圏及び、地区/連盟支援交付金の件・・・船田副会長
資料に基づき、以下の説明を行った。

- ・ 交付金については、昨年同様登録数は減少しているが、前年度並みとなるよう調整額にて調整。
- ・ 5 ブロック圏交付金昨年度変更のとおり継続とする。

報告の後、出席評議員より質疑・意見等がなく、これを了承した。

(7) その他

1) 夢きたれについて

(鷲津) 夢きたれ活用のためワーキンググループを立ち上げ、委員長を務めることになった。副委員長に石井専務理事、委員に安芸事務総長と財務委員の佐々木特任理事、オブザーバーに吉田名誉会長。運営方法と有効活用について 1 年かけて検討する。関係者へのヒアリングと施設点検を実施した。現在 3 団体から宿泊希望が入っている。チームで炊飯ができて、氷が使えるなど、できることから準備を進めている。

2) コロナウイルス 5 類移行について

(越山) サッカー・フットサルともにガイドラインを廃止した。これまでの感染予防対策への協力に感謝申し上げる。また、2019 年に発出したインフルエンザに関する通知も廃止する。対応が必要な場合は都度部会を設置し検討していく。

3) ゴール転倒事故の防止について

(越山) 高校野球部員が移動式バッティングゲージの下敷きになり重体となった。我々も選手にゴール運搬を手伝ってもらうことがある。今一度、怪我のないよう運び方やウェイトの設置、ゴールにはぶら下がらない等、危険の無いよう注意喚起して欲しい。

4) 大会表彰の新形式について

(越山) インターハイ、大学フットサル、U 1 2 フットサルの表彰式で北海道チャンピオンのバナーを使用した。喜びに満ちた表彰式を実施することができた。バナーは 1 台しかないの、追加するか皆さまの意見を聞きながら検討したい。

5) 理事会のオブザーバー出席について

(越山) 各地区の理事長に理事会へ出席頂いている。理事会は地区FAとHKFAの重要な繋がりの方
と考えることから、都合により欠席の場合は、副理事長をオブザーバーとして参加して
頂きたい。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げ、14時32分に閉会を宣言した。
この議事録が正確であることを証するため、議長、議事録署名人は記名し押印する。

2023年 6月25日

公益財団法人北海道サッカー協会 2023年度 定時評議員会

議 長 戸村真規 印

評 議 員 三森敏司 印

評 議 員 前田孝一 印